

アベノミクスで暮らしや商売はよくなりましたか？

安倍総理が成果を誇るアベノミクス、富裕層や大企業には恩恵がありましたが、国民生活や地域経済、中小企業にはマイナスでした。

アベノミクスで改善した指標 (2012年を100とした2018年の比較)

- ・株価は、193に上昇
- ・大企業の経常利益は、188
- ・株主配当金(東証1部)は、196
- ・企業の内部留保は、170

アベノミクスで悪化した指標

- ・実質賃金は、96.4に減少
- ・労働分配率は、91.4に低下
- ・実質世帯消費動向指数は、90.7
- ・消費者物価は、106.6に上昇
- ・国の借金は、112に増加

金融緩和や公共事業の増加で一時的に経済はよくなりましたが、利益を先食いし、格差を拡大させ、リスクを先送りした経済政策だと言えます。

消費増税が家計と地域経済を直撃

10月に実施された消費増税が家計と地域経済に冷や水を浴びせています。すでに地方の小売業やサービス業、飲食店からは悲鳴が上がっています。最新の世帯消費動向指数(2019年10月)が発表になりました。

- ・2015年(=100)対比、2018年は90.8
- ・前年同月比93.2、前月比88.1に減少

地域でお金がグルグル回る経済

日本のGDPの60%は家計支出が占めています。家計に余裕がなければ、経済が活性化するはずありません。①長年にわたる非正規雇用等で人件費を抑制し、②消費増税で国民負担を増やし、その一方で③大企業には様々な減税を行ってきました。これらの反対の政策を実施すればよいのではないかと。

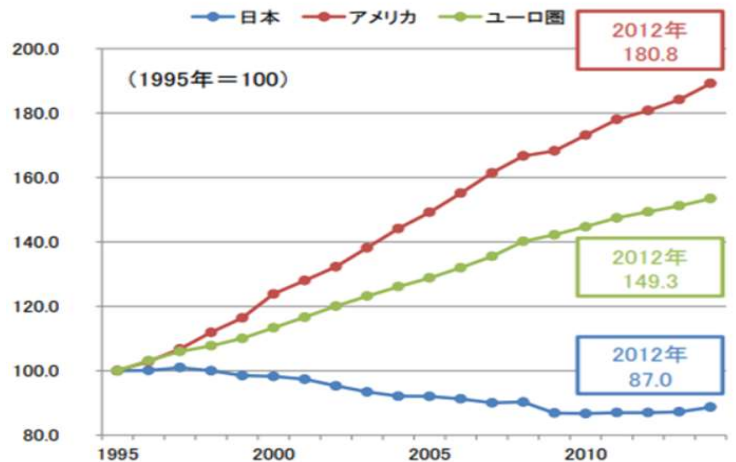
その第一歩として、食料品に掛かる消費税を5%に引き下げることが必要だと思えます。

賃金・物価・消費の推移 (2012年=100)



厚生労働省「毎月勤労調査」、総務省統計局「消費動向指数」より抜粋

賃金の国際比較 日本だけが賃下げ！



梶原やすひろのホームページを
ぜひお訪ね下さい。

- 内容
- ・わが町、わが村、美しいふるさと
 - ・梶原やすひろの考え
 - ・おばあちゃんのための政治講座
 - ・You チューブ
 - ・まんが国会
 - ・その他



篠山事務所 丹波篠山市西岡屋甲 570-2

TEL079-552-7107 FAX079-554-1700

三田連絡所 三田市相生町 21-12

TEL/FAX079-509-0033